

パラレル - RS232C- コントロール S or 赤外線 相互変換基板 説明書

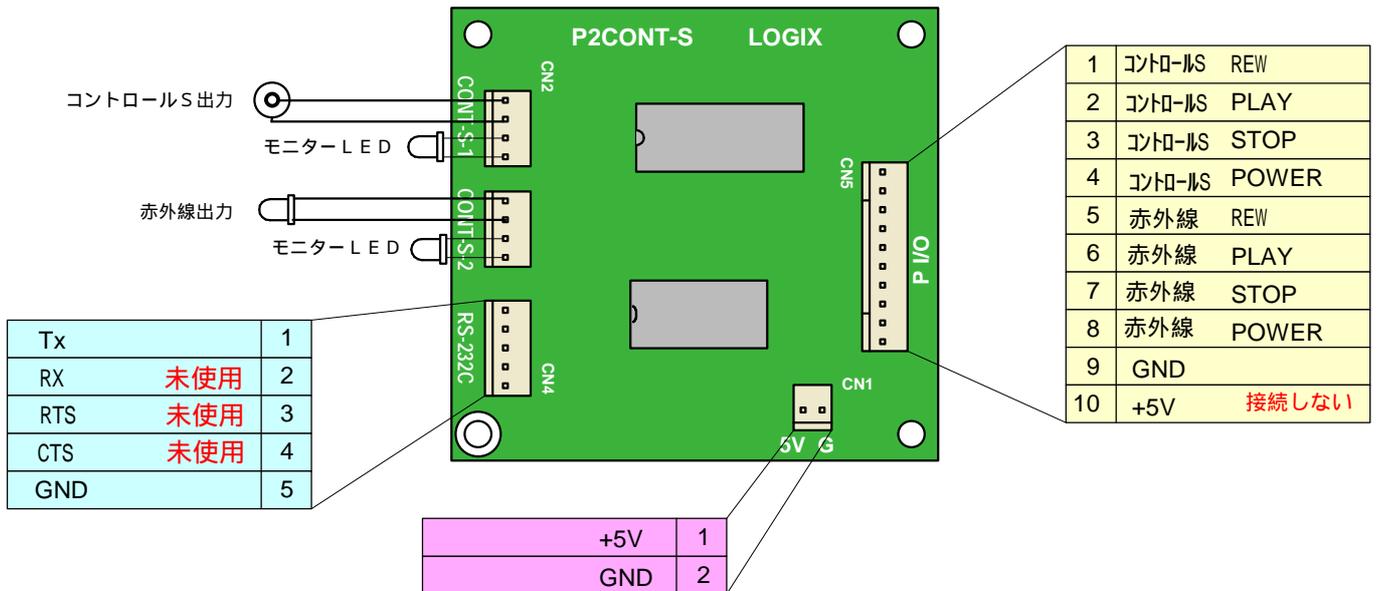
この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、パラレル - コントロールS、パラレル - 赤外線、パラレルRS-232C、RS-232C - コントロールS (赤外線)、RS-232C - パラレル、コントロールS - パラレル、コントロールS - RS232Cなどの相互変換を実現しています。

このサンプルはパラレルからコントロールS、赤外線への変換の機能があります。パラレル入力の信号をグラウンドに接続することで、コマンドモード=VTR3の信号がコントロールSおよび赤外線発光ダイオードから出力されます。

なお、このサンプルはRS-232Cはサポートしていませんが、RS232Cを使用する場合はIC2にRS232Cドライバをつける必要があります。ソフトも、それに対応する必要があります。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

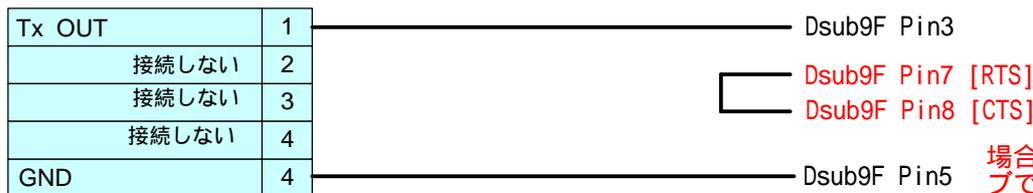
注意点として、パラレル入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。



CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力 : 10mA以下)

電源はDC 3 ~ 5Vです。RS-232Cを使用するときは5V入力が必要です。

CN4 : RS-232C出力



場合によってCTSがアクティブでないと受信できない時はRTSとCTSを接続してください

通信条件 : 9600bps Stopbit=1 Parity=none Datalen=8bit

CN5 : パラレルコントロール入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当するコントロールS、赤外線信号が出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間のみ、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

(有) ロジックス

857-0055 長崎県佐世保市湊町2 - 15

電話 : 0956-25-3963
FAX : 0956-25-3964

WebPage : www.lgx.co.jp

E-mail : logix@lgx.co.jp